

昭和大学附属烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕病院長 岩波 明
〔編集責任者〕広報委員長 常岡 俊昭
〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11
〔電話〕03-3300-5231(代表)

第147号

〔2019年10月31日発行〕

就任のご挨拶

栄養科係長 中田 美江



2019年9月1日付で、栄養科係長として昭和大学病院附属東病院より着任いたしました中田美江と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。私は入職してから2009年までは大学病院、その後は東病院に勤務し、今回烏山病院に異動してまいりました。前任地の東病院では、給食管理業務はもとより栄養指導業務を中心にしておりましたので、今までの業務内容とは違い、また初めての分野になりますので、毎日戸惑いを感じながらも色々と新しい発見もあり、充実した仕事をしております。

着任前は精神疾患と栄養の関係をあまり考えたことはありませんでしたが実際には実に関係の深いものということ、約1か月が経った現時点で感じております。

双極性障害の患者さんでは、気分による食欲の亢進や低下によって、過食や拒食を引き起こしたり、食品や食器へのこだわりなどからくる栄養素バランスの偏り、統合失調症の患者さんでは症状の1つである意欲低下や活動性の低下といった陰性症状が原因で、肥満、糖代謝異常、脂質代謝異常が起り、メタボリックシンドロームの症状を呈することが多く、さらに強いストレスにより血糖調節異常が起り、低血糖が出現したり、たんぱく質やビタミンB群の不足などの栄養障害を伴っていたりと実に様々な病態が起りえます。

また、認知症の患者さんでは、咀嚼・嚥下がうまくできない、食品を食品として認識できないなど、栄養量よりもキザミ、ペースト、とろみなど食形態の工夫や、食べやすい食具の提供など様々なことが重要になってくるということがわかり、烏山病院の給食管理業務がいかに難しいかを実感しております。

病院給食は、入院している患者さんに安心安全で心と身体に届く美味しい食事を提供し、食事は治療の一環であることから、患者さん個人の状態に応じた栄養管理を行い、栄養状態の維持・改善を目的としています。その目的に向かい栄養科一同で取り組んでまいりたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

最後になりますが、栄養科は患者給食だけではなく職員食堂でも職員に昼食を提供しております。皆さまの休憩時間、ほっとする時間に美味しい昼食をご用意しておりますので、どうぞご利用ください。

倫理講習会が開催されました！

臨床薬理研究所 事務員 川島 朋子

2019年10月10日（木）に烏山病院デイケアセンターにて、倫理講習会「臨床研究の重要事項と最新の知見」が開催されました。

昭和大学で臨床研究を実施するためには、倫理講習会の受講が必須ではありますが、当日は、研究者は当然のこと、多彩な職種の方々が参加していました。昭和大学臨床薬理研究所の龍 家圭講師が講演いたしました。

講演内容は通常の診療で求められる「医療倫理」とは少し異なる考え方が求められる「研究倫理」に関する内容と、研究の対象となる人達の安全性を守ることや研究の質を担保するために必要な、「研究に関連する法律・規則」についてでした。特に「臨床研究」は研究の対象となる患者さん自身には基本的に利益がなく、将来の患者さんの利益のために実施されるため、研究の対象となる患者さん本人の不利益を最小限にする努力は必要ですし、科学的にも倫理的にも適切な研究を実施しなければいけないというお話は印象的でした。また、「研究に関連する法律・規則」は2018年4月に新しく施行された法律である「臨床研究法」について解説されており、現在の臨床研究を取り巻く環境について学びました。

烏山病院で実施される臨床研究が将来の患者さんのためになるよう、研究者の方々に研究を推進してもらうためには、患者さんの協力が必要なのは当然のこと、他の医療関係者、事務の協力も必要ですので、チーム医療と同様に研究も連携して実施していけるよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



令和元年 烏山病院開催 倫理講習会 -臨床研究の重要事項と最新の知見-

令和元年（2019年）10月10日

昭和大学臨床薬理研究所
昭和大学医学部薬理学講座臨床薬理部門
昭和大学病院臨床試験支援センター
昭和大学統括研究推進センター



デイケア 9月12日夏祭り開催

デイケア利用者 AG

2019年9月12日（木）に、烏山病院デイケア内で、『夏だ! 踊ろう! 盆踊りフェス 2019』を開催しました。最初は大階段下で盆踊りを踊りました。踊った曲は、東京音頭と炭坑節の二つをそれぞれ二回音楽とプロジェクターによるお手本を流しながら踊りました。次はゲームで、魚釣りゲームを行いました。このゲームは磁石を付けた竿でクリップのついた魚を制限時間内にどれだけ多くとれるかを団体戦で競いました。合計5チームが代表者6名で、制限時間2分内に応援の声が聞こえる中、魚を釣りつくす勢いでゲームを楽しんでいました。最後にお茶会を2階のスペースで行いました。多数の種類のお菓子とお茶を食べながら、テーブル内で会話を楽しんでいる人が多く見受けられました。お祭りは2時間という短い時間でしたが、多くの人が積極的に参加していたように感じられました。私はプロジェクトKに初めて参加しましたが、無事進行してよかったです。



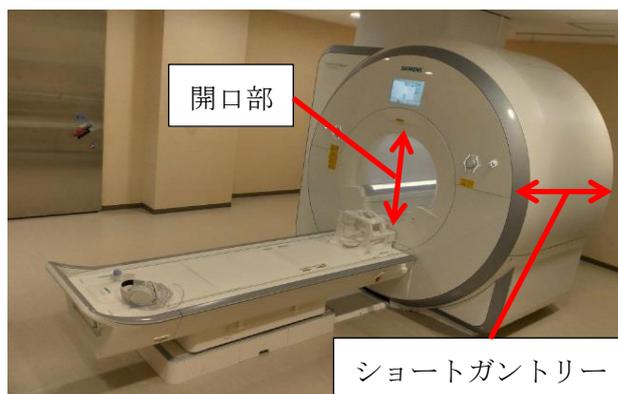
MRIの更新について

放射線技術室 中嶋 孝義

2019年9月にMRI装置が更新され、SIEMENS社製MAGNETOM Skyra fitが導入されました。この装置は高精細な画像が提供できる3T（テスラ）の高磁場でありながら173cmのショートガントリーおよび開口部が直径70cmのオープンボアのため以前の装置と比べ検査時の圧迫感が少ない装置となっています。全身の検査が可能な本装置は、静音技術も向上したため一部の撮像においては静かな音にて検査が可能となり、音に過敏な患者さんに対してもMRI検査が受けやすい環境となりました。

烏山病院に来院されMRI検査を受けていただく全ての患者さんの状態に合わせ安全安心な検査を提供出来るよう努めてまいります。

装置更新に伴い検査枠も増加し、待ち日数も比較的短くご予約頂けるようになりました。近隣の医療施設の先生方におかれましても、ぜひ本装置をお役立てください。



今年も「あかねバザー」をすることが できました！

あかね会 松原 のり子

2019年11月8日（金）真っ青な秋空の下、恒例の「あかねバザー」を烏山病院正面玄関前で開催しました。「衣類」、「雑貨」、「アクセサリなど」3つのブースに分かれて、10時の合図で販売開始。待ち構えていたお客さんが殺到して、バザー品の山はみるみる小さくなってゆきます。新品・新品に近いもののお値段は確かに安く、掘り出し物がいっぱいです。

バザーは、ご近所のみなさんが品物を提供して下さる→あかね会員がそれに値段をつけ倉庫に保管→1年間貯めたものをこの日に売り出すというやり方です。これにはあかね会の事務室・倉庫の存在が欠かせないし、ご近所のみなさんの品物の提供が必要、商店街のポスター貼りや放送を通じての宣言、なんといっても烏山病院の事務・設備・警備など多くのみなさんのご支援をいただきました。

バザーは20年ほど続けていますが、今や烏山地域の一つの「イベント」になっている感じで、地域のみなさんは楽しみにして下さっています。大勢のみなさんのご協力にこころより感謝申し上げます。



総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～土曜日・8時30分～17時

電話：月曜日～金曜日 03-3300-5329

土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～土曜日・8時30分～11時

◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始



【編集後記】

このたびの台風19号により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

被災された方の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

広報委員 石坂

《9月》 入院(前月) 外来(前月)

◆延患者数 8,175 (8666) 6,119 (6,176)

◇一日平均患者数 272.5 (279.5) 266.0 (237.5)

◆診療実日数 30 (31) 25 (22)

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちして

おります。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp

